

被爆 80 年

「広テレ 平和WEEK」 開催

2025 年 8 月 1 日(金)から 6 日(水)まで

広島テレビ放送株式会社は、2025 年 8 月 1 日(金)から 6 日(水)までを、「広テレ 平和WEEK」と位置づけ、被爆 80 年を、番組と連動する形で多角的にアピールします。

すでに広島テレビは、2024 年 10 月から「NEVER AGAIN(過ちを二度と繰り返してはいけない)」のロゴを使って被爆 80 年キャンペーンを展開していますが、平和WEEKにはそれを集中して放送し、ネットを通じて県外、海外へも発信する方針です。

大きな柱は、ドキュメント番組・シリーズ企画「キノコ雲の上と下」の特別番組、「折り鶴プロジェクト」、「記憶の解凍展」、学生たちによる映像作品上映。詳しくは以下の通りです。

■ドキュメント番組 シリーズ企画「キノコ雲の上と下」

80年前の原爆投下直後、キノコ雲の上と下で何があったのか。被爆者と原爆を投下したアメリカ兵が戦後抱えた苦悩と葛藤に迫ります。双方の視点から、平和公園の原爆慰霊碑に記された「過ちは繰り返させぬから」というメッセージの意味を考えます。

■折り鶴プロジェクト

2023年のG7 広島サミットの際も折り鶴プロジェクトを実施し、約 6 万羽を集めました。被爆80年に際し、様々な人たちに平和を祈る鶴を折っていただき、被爆 80 年のメッセージとともに紹介していきます。また、収集した折り鶴を活用したイベントなども計画しています。

■記憶の解凍展

AI技術を活用して被爆前後の白黒写真をカラー化したのち、戦争体験者との対話などをもとに「記憶の色」をよみがえらせる「記憶の解凍」という取り組みがあります。広島テレビは、それに賛同し、番組やイベントを通して、被爆者の「思い・記憶」を次世代につなぎます。

■学生映像アワード2025

大学生、専門学校生、高校生を対象に学生独自の視点で被爆の実相や平和の重要性を映像作品として表現し、想いを未来につなげます。募集する映像作品のテーマは「世界に伝えたい ヒロシマ」。募集期間を2025年 3 月1日～同年 7 月 10 日とし、優秀作品は「広テレ 平和 WEEK」期間中のイベントで上映します。

